

# 令和7年度 千葉県における「かつお（中西部太平洋条約海域）」に係る資源管理協定の取組の効果の検証結果（中間）

## （1）千葉県におけるカツオの漁業実態

千葉県においてカツオは主に外房海域において重要な資源となっており、主につり漁業で漁獲されている。一方、近年は漁獲量が減少傾向となっている。

## （2）資源管理の目標及び目標達成のための具体的な取組

### 目標（資源管理基本方針に定める資源管理の目標）

中西部太平洋まぐる類委員会（以下「WCPFC」という。）での合意等に従い、次の(1)と(2)の平均値とする。

- (1) 漁獲がないと仮定した場合の親魚資源量に対する、平成30年（2018年）から令和3年（2021年）までの各年の親魚資源量の割合の平均値
- (2) 漁獲がないと仮定した場合の親魚資源量に対する、合意されたかつおの漁獲条件（まき網については平成24年（2012年）の努力量の水準、竿釣りについては平成13年（2001年）から平成16年（2004年）の努力量の平均水準、及びWCPFCで使用される評価水域5における沿岸国による漁業については平成28年（2016年）から平成30年（2018年）の漁獲量の平均水準）のもとで長期的な平衡状況で達成される親魚資源量の割合

### 該当する資源管理協定

「かつお（中西部太平洋条約海域）」に係る資源管理協定（以下、協定という。）は、下表のとおりで、7漁協所属の約70名が、カツオを対象とした、それぞれの協定に参加しており、このうち本検証の対象となる協定は、4協定となっている。

協定	備考	協定	備考	協定	備考
東安房（白浜地区）		鴨川市		御宿岩和田	
東安房（和田地区）		新勝浦市		銚子市	
東安房（天津・小湊地区）					

本検証の対象協定

### 自主的取組

漁業の種類	資源管理の取組	取組の内容	備考
つり漁業	休漁日の設定	第1・第3土曜日 第1・第3土曜日（ただし、県外操業及び水揚げにより、当該取組が実施できない場合、当該取組の休漁日数との合計で2日以上/月を設定する。） 休漁日の追加設定（8月13日～15日） 銚子魚市場休業日	鴨川市、御宿岩和田 新勝浦市  新勝浦市 銚子市

協定に記載されている取組

### ( 3 ) 資源管理の取組状況

令和6年(2024)度の国際的な資源評価では、近年(2018~2021年)の漁獲圧(F)はMSY(最大持続生産量)レベルを下回り、かつ産卵親魚量(SB)がMSYレベルを上回っていることから(図1)、資源状態は乱獲状態でも過剰漁獲でもないと評価されている。一方で、本県の漁獲量は1984年に過去最高の6,179トンとなった後に減少傾向となっており(図2)、これは漁獲努力量の減少の他に、海況(水温、黒潮)の変化により本県の漁場への来遊量が減少している可能性がある。また、協定参加者による検証(以下、「自己点検」という。)において、漁獲量及びCPUE(単位努力量あたり漁獲量)は1地区で増加、1地区で維持、2地区で減少と、地区ごとに異なる判断がされており、県内においても来遊状況に差が生じている可能性がある。なお、漁獲量及びCPUEを減少と判断された協定では、その理由として海況の変化による来遊量の減少等が挙げられていた。また、漁獲努力量は、漁獲量及びCPUEが増加していると判断した1地区では増加していたが、他は1地区で維持、2地区で減少と判断されている。魚価(単価)は2地区で上昇、2地区で維持と判断されている。

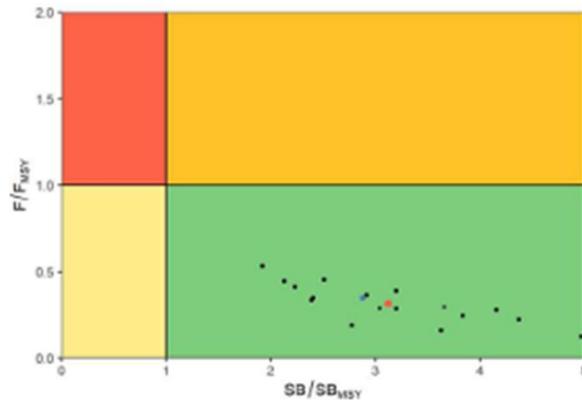


図1 MSY水準に対する漁獲圧の相対値と産卵親魚量の相対値(青丸)  
(縦軸及び横軸の1.0は、漁獲圧及び産卵親魚量のMSY水準を示す)

(水研機構HP 令和6年(2024)度 国際漁業資源の現況 カツオ中西部太平洋)

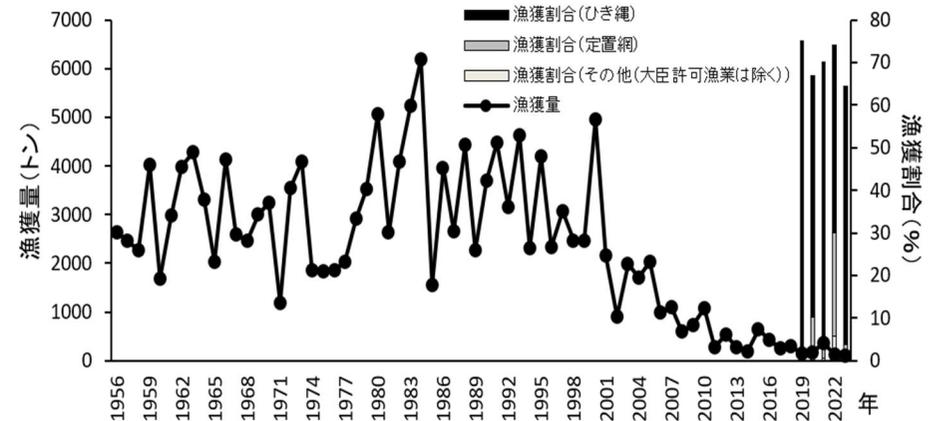


図2 千葉県におけるカツオ漁獲量と漁業種別漁獲割合

(海面漁業生産統計調査)

### ( 4 ) 資源管理の効果を高めるための協定の改善・高度化の検討

カツオは、現在の国際的な資源評価では良好な資源状況と判断されていることから、現在の取組は資源の保存及び管理に一定の効果をもたらしていると考えられる。一方で、自己点検では漁獲量や資源が減少しているという実感から「取組の効果は感じない」としている協定も存在しており、効果を感じられない要因は海況による影響と判断されている。実際に、日本近海へのカツオの来遊には水温が影響すると考えられていることから、近年の本県における漁獲量の減少傾向および地域による来遊状況の違いは、海況が要因の1つである可能性がある。

このため、現在の取組を継続していくとともに、今後の海況を始めとする海洋環境の変化や国際的な資源状況を注視し、状況に応じた対応を検討していくことが重要と考えられる。